

へいせい ねんど がっしきぎょうしきこうわ
平成29年度1学期始業式講話

みなさん、おはようございます。いよいよ新しい学年、平成29年度がスタートしました。今年もどうぞよろしく願います。

さて、今、新しい学年がスタートした、と言いましたが、1年の数え方には二とおりの数え方があることを知っていますか？ ひとつは、1月1日に始まって12月31日で終わる数え方。ふつうはこの数え方をしますね。でも、学校での1年間は、「学年」と言って、一般の数え方とは違いますね。いつ始まって、いつ終わりますか？ そう、4月1日に始まって、次の年の3月31日に終わります。平成29年度は、先週の4月1日にすでに始まっています。来年の3月31日までの365日、勉強やスポーツに精いっぱい頑張っておほしいと思います。

去年、皆さんからのアイデアで、2つの挨拶運動の標語を考えていただきました。ひとつは、「だれにでもあいさつできる子、岩出の子」。もうひとつは、「あいさつは、みんなをつなぐ合言葉」でしたね。覚えていますか？ 今年も、岩出小学校の皆さんには、いつでも元気よく、大きな声で挨拶ができる子になってほしいと思っています。

ところで、世界には、いろいろな挨拶の動作の仕方があります。日本では、人に挨拶するときには、「お辞儀」をしますね。では、例えば、アメリカ人はどうでしょうか？ そう、手と手を握り合う、「握手」や、軽く抱き合う「ハグ」をします。握手をする人は、最近では日本でもだんだん増えているように思います。また、ニュージーランドの先住民のマオリ族の人たちは、鼻と鼻を左右にこすりあわせて挨拶をします。これは、校長先生も昔ニュージーランドに行ったときに体験しましたが、日本人にとっては、とっても照れくさいものでした。また、チベットという国では、舌をペロッと出すことで挨拶をします。

私たちには、何か変な感じがしますね。こんなふうに、世界には色々な挨拶がありますが、どの挨拶もすべて、「私」は、あなたの敵ではありませんよ。仲良くしましょね」ということを相手に示すためのものなのです。今年も、元気に、大きな声で挨拶をして、たくさんの人とお友達になってほしいと思います。

みなさんは、今日、登校してくるとき、「新しい担任の先生はだれだろう？」
「クラスにはどんな子がいるかな？」「今年は、どんなことを頑張ろうかな？」
と、いろいろなことを考えながら、ワクワクドキドキしながら登校してきた
ことと思います。その、新鮮な、ワクワクドキドキの気持ちを大切にしながら、
新たな気持ちで1年のスタートを切ってほしいと願っています。実は、校長
先生も、今年が、35年間の教員生活最後の年になります。悔いのないよ
うに、皆さんと一緒に精いっぱい頑張りたいと思っています。よろしくお願
いします。以上で始業式のお話を終わります。